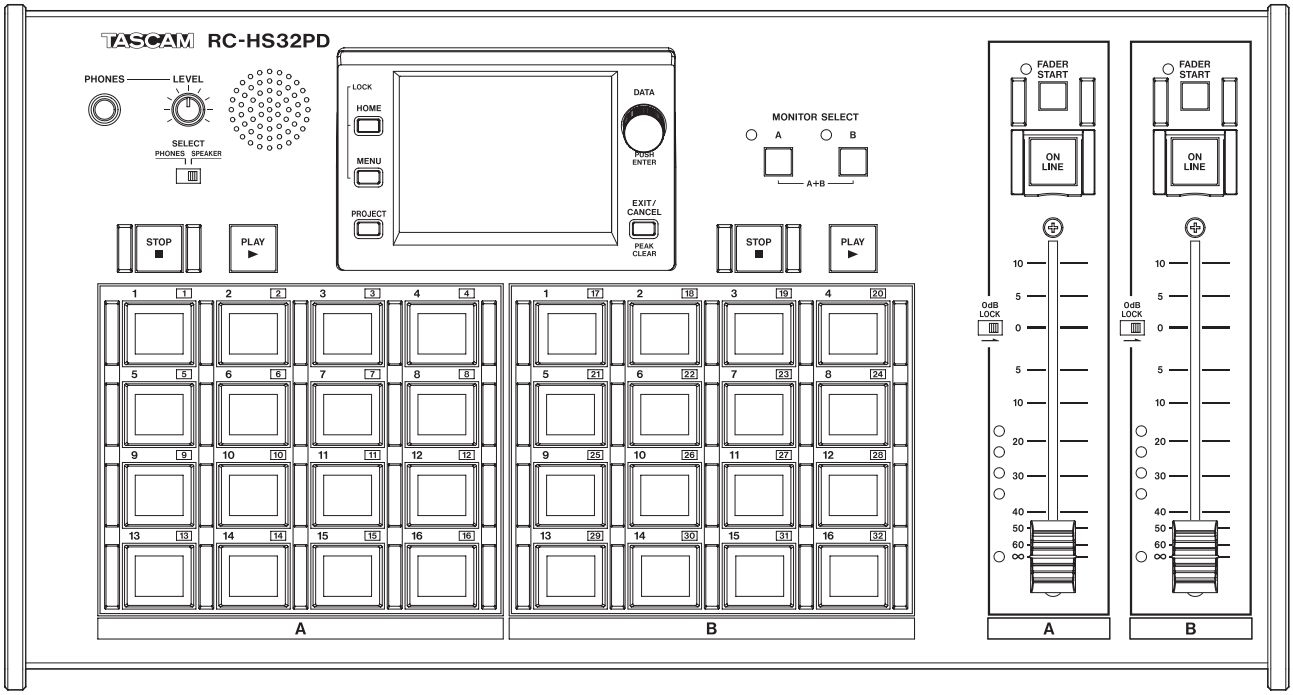
TASCAM

D01138401C

RC-HS32PD

Remote Control Unit

取扱説明書



目次

第1章　はじめに 3
本機の概要 3
本機の構成 3
本書の表記 3
商標に関して 3
設置上の注意 3
結露について 4
製品のお手入れ 4
　ディスプレーのお手入れ 4
アフターサービス 4

第2章　各部の名称と働き 5
トップパネル 5
リアパネル 7

第3章　準備 8
HS-4000と接続する 8
市販のケーブルを使用する 8
HS-4000を設定する 8

第4章　再生する 9
通常の再生 9
フラッシュ再生 9
スタンバイ 9
フェーダースタート機能 10
オンライン再生モードの切り換え 10

第5章　仕様 11
出力定格 11
　アナログオーディオ出力定格 11
一般 11
寸法図 11

このたびは、TASCAM Remote Control Unit RC-HS32PDをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本機は、TASCAM HS-4000の**REMOTE**端子を使用したダイレクトプレイスタート／オンライン送出制御用ワイヤードリモコンです。
本機をHS-4000に接続することにより、手元から簡単にダイレクトプレイスタート／オンライン送出機能を制御することができます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 最大96エントリー（テイク）のダイレクトプレイスタートが可能（32エントリー x 3ページ、テイクモードもしくはプレイリストモード [シングル]）
- 最大96エントリー（テイク）のダイレクトスタートプレイがプレーヤー（A、B）毎に可能（16エントリー x 6ページ、もしくは12エントリー x 8ページ、プレイリストモード [デュアル]）
- フラッシュスタート機能による瞬時再生スタートが可能
- スタンバイ機能による次再生エントリーの予約が可能
- TFTカラータッチパネルを装備し、接続したHS-4000本体と同様の操作が可能
- 文字表示機能付き自照式のエントリー再生キーを32個装備
- 自照式のPLAYキーとSTOPキーを装備
- 音声出力レベルを調節できるフェーダー（A ／ B）を装備（フェーダースタート／ストップ対応、0dB LOCKスイッチ付き）
- オンライン再生のオン／オフを切り換えできる自照式のキー（A ／ B）を装備
- モニター音声を選択できるインジケーター表示付きMONITOR SELECTキー（A ／ B）を装備
- LEVELつまみ付きモニター用スピーカーとヘッドホン端子を搭載

本機の構成

本機の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- 専用接続ケーブル（5m）　x1
- 保証書　x1
- 取扱説明書（本書）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー／端子などを「**MENU**キー」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“**ON**”のように“__”で括って表記します。
- ホーム画面の下側にある各ボタンを押して、ホーム表示される画面を【**REC/MON**】画面のように【___】で括って表記します。
- 「コンパクトフラッシューカード」のことを「CFカード」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないてください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  ほこりの多い場所

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本機の上には物を置かないでください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。
5年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

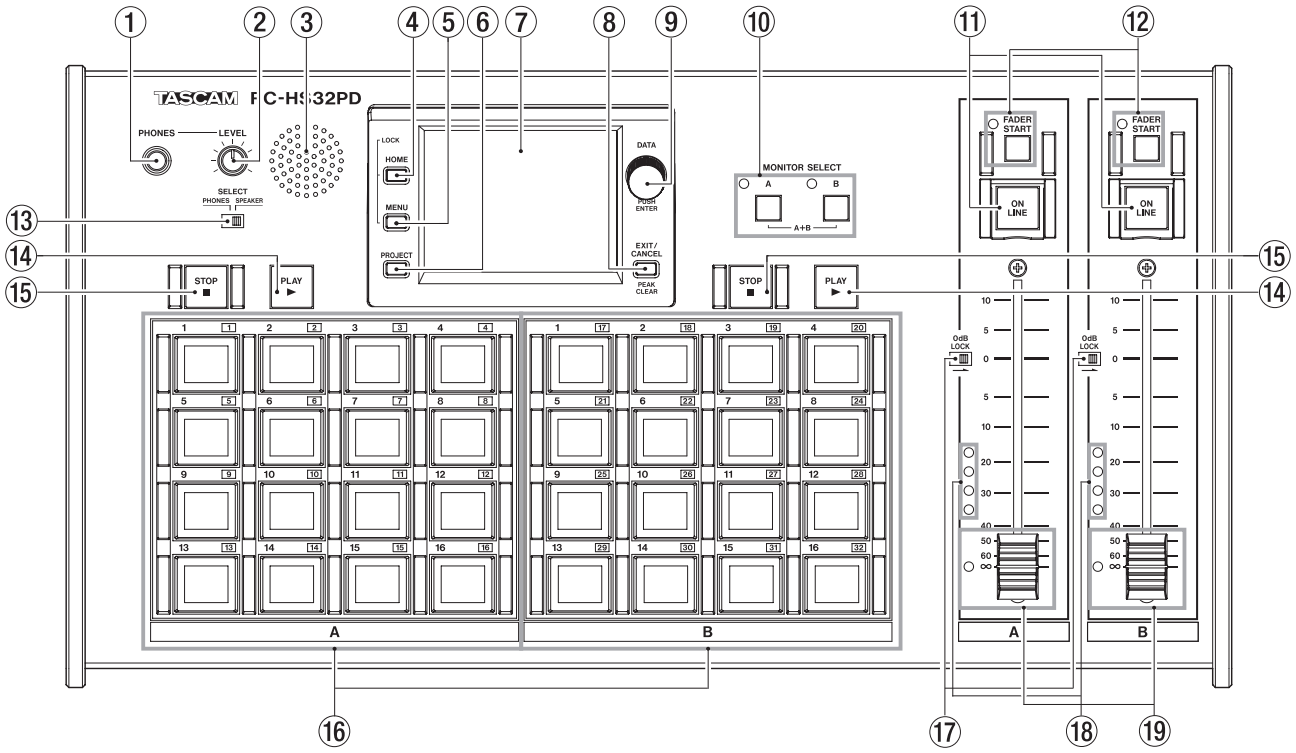
ディスプレーのお手入れ

ディスプレーは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布（クリーニングクロスなど）で軽く拭きます。
硬い布で拭いたり、強くこすったりすると液晶の表面に傷がつきますので注意してください。また、ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししてますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  本機を使ったCFカード、USBメモリーなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
  - 型名、型番（RC-HS32PD）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

トップパネル



① PHONES端子

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。

モニター音声が出力されます。

ヘッドホンから音声を出すには、**SELECT**スイッチを**PHONES**側にセットした上で **LEVEL**つまみを調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

② LEVELつまみ

スピーカーまたは**PHONES**端子に繋いだヘッドホンの出力レベルを調節します。

③ 内蔵スピーカー

モニター音声を聞くためのスピーカーです。

スピーカーから音声を出すには、**SELECT**スイッチを**SPEAKER**側にセットした上で **LEVEL**つまみを調節します。

④ HOMEキー

ホーム画面を表示します。

HS-4000本体の**HOME**キーと同じ動作をします。

⑤ MENUキー

“MENU” 画面を表示します。

HS-4000本体の**MENU**キーと同じ動作をします。

⑥ PROJECTキー

“PROJECT” 画面を表示します。

HS-4000本体の**PROJECT**キーと同じ動作をします。

⑦ カラーディスプレー

解像度320x240ドットのタッチセンサー付き3.5インチTFTカラーディスプレーです。

本体のカラーディスプレーと同じ内容を表示し、同じ操作ができます。

⑧ EXIT/CANCEL [PEAK CLEAR] キー

入力や項目の選択をキャンセルします。

HS-4000本体の**EXIT/CANCEL**キーと同じ動作をします。

⑨ DATAダイヤル

回すと**DATA**ダイヤルとして働き、押すと**ENTER**キーとして機能します。

HS-4000本体の**DATA**ダイヤルと同じ動作をします。

HOMEキーを押しながらこのダイヤルを回すと、カラーディスプレーと**PLAY**キー、**ON LINE**キー、**STOP**キー、**FADER START**インジケーター、**MONITOR SELECT**インジケーター、簡易メーター、1- 32（フラッシュ再生）キーの輝度が調節できます。

HOMEキーを押しながらこのダイヤルを押し回しするとカラーディスプレーのみの輝度が調節できます。

注意

本機から輝度調節できるのは、本機のディスプレーやインジケーターのみです。HS-4000本体の輝度調節はできません。

⑩ MONITOR SELECTキー／インジケーター（A ／ B）

ヘッドホンやスピーカーで聞く音声を選択します。

音声が出力されているときは、インジケーターが点灯します。

プレイリストモード [デュアル] では、聞く音声をA ／ Bから選択できます。キーを押すごとに音声出力がオン／オフします。

AキーとBキーを同時に押すと、AとBの両方の音声を聞くことができます。

モニター A ／ Bともにオン（インジケーター A ／ Bがともに点灯）のときにAキーとBキーを同時に押すと、モニター A ／ B の両方がオフになります。

その他のモードでは、Aキーのみ機能します。Aキーを押すごとに音声出力がオン／オフします。

⑪ ON LINEキー／インジケーター（A ／ B）

オンライン再生モードのオン／オフを切り換えます。

プレイリストモード [デュアル] では、プレーヤー A ／ Bのそれぞれでオン／オフが可能です。それ以外のモードでは、A側のキーのみ有効です。

キーの操作は、表面のカバーを持ち上げた状態で行います。

オンの時に点灯し、オフのときには消灯します。

オンライン再生モードを常にオンにすることも可能です。その場合には、HS-4000本体の設定が必要です。（ → 第12章「その他の機能」の「オンライン機能 」）

⑫ FADER STARTキー／インジケーター（A ／ B）

フェーダースタート機能のオン／オフを切り換えます。

プレイリストモード [デュアル] では、プレーヤー A ／ Bのそれぞれで設定が可能です。それ以外のモードでは、A側のキーのみ有効です。

オンのとき、キー上部のインジケーターが点灯します。

⑬ SELECTスイッチ

モニター音声の出力先を切り換えます。

PHONES側にすると、**PHONES**端子からモニター音声を出力します。

SPEAKER側にすると、内蔵スピーカーからモニター音声を出力します。

⑭ PLAYキー／インジケーター（A ／ B）

停止／再生待機中にこのキーを押すと再生を開始し、キーが点灯します。

プレイリストモード [デュアル] では、プレーヤー A ／ Bのそれぞれの再生を開始します。それ以外のモードでは、A側のキーのみ有効です。

⑮ STOPキー／インジケーター（A ／ B）

再生を停止します。

停止中には、キーが点灯します。

プレイリストモード [デュアル] では、プレーヤー A ／ Bのそれぞれの再生を停止します。それ以外のモードでは、A側のキーのみ有効です。

⑯ 1-32（フラッシュ再生）キー／インジケーター

キーにエントリー（テイク）がアサインされているとき、キーが橙色で点灯し、キー表面にタイトルが表示されます。

形式が異なり、再生できないエントリー（テイク）の場合は赤色で点灯します。また、HS-4000本体の **“Flash Start Key Method”** 項目の設定に従って、二通りの動作をします。

- **設定が“Flash Start”のとき**

  アサインされているキー（橙色で点灯しているキー）を押すと、瞬時に再生（フラッシュ再生）し、そのキーは緑色で点灯します。ただし、フェーダースタート機能がオンのときに、フェーダーが∞の位置にあるときには再生待機状態となり、そのキーは黄色で点滅します。

- **設定が“Standby”のとき**

  停止中にアサインされているキー（橙色で点灯しているキー）を押すと、再生待機状態となり、そのキーは黄色で点滅します。その後、**PLAY**キーを押すと再生を開始し、そのキーは緑色で点灯します。

  再生中にアサインされているキー（橙色で点灯しているキー）を押すと、次に再生するエントリー（テイク）として予約された状態になり、そのキーは黄色で点灯します。また、再生中のエントリー（テイク）のキー（緑色で点灯しているキー）を押すと、次に再生するエントリー（テイク）として再生中のエントリー（テイク）を予約し、そのキーは黄色と緑色が交互に点灯します。それぞれのとき、**PLAY**キーを押すと予約されていたエントリー（テイク）の先頭から再生を開始します。

  予約された状態のキー（黄色で点灯しているキー、もしくは黄色と緑色が交互に点灯しているキー）を押すと、その予約を取り消します。

  予約されているエントリー（テイク）がある状態で再生中のエントリー（テイク）の再生が終了したときは、以下の様に動作します。

  - Play ModeがOne Takeのとき

    予約されているエントリー（テイク）の先頭で再生待機状態となります。

  - Play ModeがAll Takeのとき

    予約されているエントリー（テイク）を引き続き再生します。

メモ

HS-4000本体の **“PLAYSETUP”** 画面の **“CONTROL”** タブ画面の **“PLAY Inhibit Time”** 項目を設定することで、これらのキーにより再生が開始されてから、設定した時間の間同じエントリー（テイク）の再生開始を無効にすることができます。

この機能を使うことで、チャタリングによる誤操作を防止したり、再生中に同じテイクの再生を始めてしまうことを防止したりすることができます。

⑰ 0dB LOCKスイッチ

スイッチを入れると、フェーダーが0dBより上に動かなくなります。

⑱ 簡易メーター

ポストフェーダー（フェーダーを通した後の状態）の音声レベルを簡易的に4つのインジケーターで表示します。

⑲ フェーダー／インジケーター

音声出力のレベルを調節します。

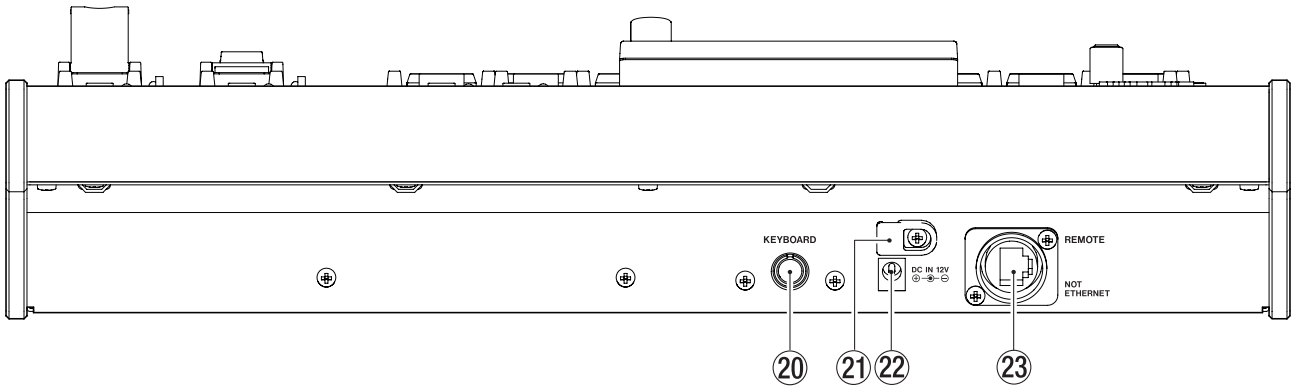
フェーダーが∞から上がっているとき、フェーダー左下のインジケーターが点灯します。

フェーダースタート機能がオンになっている場合は、フェーダーを完全に下げる（∞の位置に移動させる）と、再生状態から再生待機状態になります。再生待機状態でフェーダーを∞からあげると再生を開始します。

メモ

- フェーダーを使用するには、HS-4000本体の **“REMOTE SETUP”** 画面の **“GENERAL”** タブ画面で **“FADER MODE”** 項目が **“Enable”** に設定されている必要があります。（**“Disable”** に設定した場合、フェーダー操作は無効となり、HS-4000本体内部のフェーダーは0dB固定となります。）
- フェーダースタートを使うには、HS-4000本体の **“REMOTE SETUP”** 画面の **“GENERAL”** タブ画面で **“FADER Start MODE”** 項目が **“Enable”** に設定されている必要があります。
- フェーダーストップを使うには、HS-4000本体の **“REMOTE SETUP”** 画面の **“GENERAL”** タブ画面で **“FADER Stop MODE”** 項目が **“Enable”** に設定されている必要があります。
- HS-4000本体の **“REMOTE SETUP”** 画面の **“GENERAL”** タブ画面で **“FADER Start MODE”** 項目および **“FADER Stop MODE”** 項目の両方を **“Disable”** に設定したときには、本機のフェーダースタート機能が自動でオフに設定され、FADER STARTインジケーターが消灯します。また、FADER STARTキーを押しても、カラーディスプレーに警告のポップアップウィンドウが表示され、オンにすることはできません。

リアパネル



⑳ KEYBOARD端子

IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを接続します。

プロジェクト名、フォルダ名などの入力に使用します。

USキーボードと日本語用キーボードではキーの配列が異なるため、HS-4000本体には使用するキーボードの設定項目があります。**“SYSTEM SETUP”** 画面の **“PREFERENCES”** タブ画面で **“KBD Type”** 項目を **“JPN”**（日本語用キーボード）または **“US”**（USキーボード）に設定してください。

初期設定は、**“JPN”** に設定されています。

㉑ コードホルダー

通常は使用しません。

（ACアダプターを**DC IN**端子に接続したときに、ACアダプターのコードを引っ掛けてプラグの抜け落ちを防止します。）

㉒ DC IN端子

通常は使用しません。何も接続しないでください。

（将来消費電力が増えた際に使用します）

㉓ REMOTE端子

付属の接続ケーブルでHS-4000本体と接続します。

注意

- **REMOTE**端子は、イーサネット（LAN）コネクターではありません。ネットワークに接続されたケーブルは、絶対に本機に接続しないでください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、HS-4000本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

HS-4000と接続する

本機のリアパネルの**REMOTE**端子とHS-4000本体の**REMOTE**端子を付属のケーブルで接続します。

注意

- **REMOTE**端子は、イーサネット（LAN）コネクターではありません。ネットワークに接続されたケーブルは、絶対に本機やHS-4000本体に接続しないでください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、HS-4000本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

市販のケーブルを使用する

通常は、付属の専用接続ケーブル（5m）を使用してください。
付属の専用ケーブル（5m）では長さが足りないなどの問題がある場合に、以下のケーブルをお使いいただけます。

● **ノイトリック社製イーサコンケーブル**
ノイトリック社製のイーサコン CAT6ケーブル（型番：NKE6S-＊）をそのままお使いいただけます。また、挿抜に強い設計となっておりますので、こちらをお勧めします。製品の詳細については、ノイトリック社のホームページをご確認ください。
http://www.neutrik.com/

● **他の市販LANケーブル**
市販のLANケーブルをお使い頂く事も可能ですが、以下の条件を必ずお守りください。

- ストレート結線のカテゴリー６aケーブルで、シールドされたものをご使用ください。
- ケーブル長は、20mまでとしてください。また、コネクターの構造が強くありませんので挿抜には注意してください。

HS-4000を設定する

必要に応じて、以下のHS-4000本体の設定を行います。

オペレーションモード

本機は、テイクモード、プレイリストモード [シングル／デュアル] でお使いいただけます。HS-4000のオペレーションモードをいずれかに設定してください。

メモ

タイムラインモードでは、本機の1-32（フラッシュ再生）キー、プレーヤー B用のキー、プレーヤー B用のフェーダーははお使いになれません。

オンライン機能（ONLINE Function）

オンライン機能を切り換え可能（**“Switchable”**）にすると、本機の**ON LINE**キーが使用可能となり、オンライン再生のオン（オンライン再生）／オフ（モニター再生）が切り換えできます。
オンライン機能を切り換え不可にして常に全ての端子から音声を出力（**“AlwaysON”**）にすると、本機の**ON LINE**キーは使用できなくなり、音声は常に全ての出力端子から出力されます。
オンライン機能の設定については、HS-4000の取扱説明書 第12章「その他の機能」の「オンライン機能 」をご参照ください。

フラッシュスタートキー動作（Flash Start Key Method）

フラッシュスタートキー動作をフラッシュ（**"Flash Start"**）にすると、1-32（フラッシュ再生）キーを押すとフラッシュ再生します。
フラッシュスタートキー動作をスタンバイ（**"Standby"**）にすると、1-32（フラッシュ再生）キーを押すと再生予約となります。
フラッシュスタートキー動作の設定については、HS-4000の取扱説明書 第10章「リモート設定 GENERAL タブ画面」をご参照ください。

再生モード（Play Mode）

再生モードを適宜設定してください。本書では、**“Auto Cue”**、**”Auto Ready”**、**“Inc. Play”** などの設定はオフになっているものとして手順を説明します。
1テイク再生後に停止する（**“One Take”**）か、フォルダやプレイリスト内の全テイクを続けて再生する（**“All Take”**）を選択できます。
再生モードの設定については、HS-4000の取扱説明書 第10章「内部設定詳細」の「再生設定（PLAY SETUP）－GENERALタブ画面」をご参照ください。
次に、再生するセッションやプレイリストを選択します。
テイクモードでのセッションの選択は、HS-4000の取扱説明書 第5章「プロジェクト」の「セッションフォルダの操作－セッションフォルダをロードする」をご参照ください。
プレイリストモードでのプレイリストの選択は、HS-4000の取扱説明書 第9章「プレイリストモード」の「プレイリストの操作－プレイリストをロードする」をご参照ください。

通常の再生

トップパネルにあるPLAYキー、STOPキーを使って、通常の再生、停止の操作ができます。

1. テイクモードでは、再生したいテイクが含まれているセッションフォルダを選択します。プレイリストモードでは、再生したいエントリーが含まれているプレイリストをロードします。
2. 再生したいテイクまたはエントリーを選択します。
3. PLAYキーを押すと、そのテイクまたはエントリーが再生されます。このときPLAYキーが点灯します。
4. 停止するには、STOPキーを押します。このとき、STOPキーが点灯します。

フラッシュ再生

フラッシュスタートキー動作をフラッシュ（**“Flash Start Key Method”** 項目を**"Flash Start"**）にした場合、以下の操作でフラッシュ再生します。

1. テイクモードでは、再生したいテイクが含まれているセッションフォルダを選択します。プレイリストモードでは、再生したいエントリーが含まれているプレイリストをロードします。
2. プレイリストモード [デュアル] では、ホーム画面上でページを選択したい方のプレーヤー（AもしくはB）の画面上の **“PAGE”** ノブを押します。
3. DATAダイヤルを回して、再生したいテイクまたはエントリーの含まれるページを表示します。1- 32（フラッシュ再生）キーは、選択されたページでテイクやエントリーが含まれているキーは橙色で点灯します。形式が異なり、再生できないテイクやエントリーの場合は赤色で点灯します。
4. 再生したいテイクまたはエントリーに対応した番号（フラッシュ再生）キーを押します。瞬時に再生が始まり、再生しているテイクまたはエントリーに対応する番号（フラッシュ再生）キーが緑色で点灯します。ただし、フェーダースタート機能がオンのときに、フェーダーが∞の位置にあるときには再生待機状態となり、そのキーは黄色で点滅します。
5. 停止するには、STOPキーを押します。
   再生中に現在再生しているテイクまたはエントリーとは、別の番号（フラッシュ再生）キーを押すと、押したキーに対応したテイクまたはエントリーがフラッシュ再生されます。

スタンバイ

注意

本機のファームウェアバージョンが1.00、HS-4000本体のファームウェアバージョン1.00および1.05では
“Flash Start Key Method” 項目は **“Flash Start”** 固定で、スタンバイ機能は使用できません。HS-4000本体および本機ともにファームウェアバージョン1.10以降で対応します。
HS-4000本体および本機のファームウェアバージョンは、HS-4000本体のバージョン表示画面（**“VERSION INFO”** 画面）で確認できます。

フラッシュスタートキー動作をスタンバイ（**“Flash Start Key Method”** 項目を**"Standby"**）にした場合、以下の操作で再生します。

1. テイクモードでは、再生したいテイクが含まれているセッションフォルダを選択します。プレイリストモードでは、再生したいエントリーが含まれているプレイリストをロードします。
2. プレイリストモード [デュアル] では、ホーム画面上でページを選択したい方のプレーヤー（AもしくはB）の画面上の **“PAGE”** ノブを押します。
3. DATAダイヤルを回して、再生したいテイクやエントリーの含まれるページを表示します。1- 32（フラッシュ再生）キーは、選択されたページでテイクやエントリーが含まれているキーは橙色で点灯します。
4. 再生予約したいテイクやエントリーに対応した番号（フラッシュ再生）キーを押します。キーが黄色で点灯し、再生予約状態になります。
5. 再生するには、PLAYキーを押します。
6. 再生中に、アサインされている再生中ではない別のテイクのキー（橙色で点灯しているキー）を押すと、次に再生するエントリー（テイク）として予約された状態になり、そのキーは黄色で点灯します。また、再生中のエントリー（テイク）のキー（緑色で点灯しているキー）を押すと、次に再生するエントリー（テイク）として再生中のエントリー（テイク）を予約し、そのキーは黄色と緑色が交互に点灯します。それぞれのとき、PLAY キーを押すと予約されていたエントリー（テイク）の先頭から再生を開始します。
7. 予約されているエントリー（テイク）がある状態で再生中のエントリー（テイク）の再生が終了したときは、以下の様に動作します。
   - **“Play Mode”が“One Take”のとき**
     予約されているエントリー（テイク）の先頭で再生待機状態となります。
   - **“Play Mode”が“All Take”のとき**
     予約されているエントリー（テイク）を引き続き再生します。
8. 予約された状態のキー（黄色で点灯しているキー、もしくは黄色と緑色が交互に点灯しているキー）を押すと、その予約を取り消します。
9. 停止するには、STOPキーを押します。

フェーダースタート機能

FADER STARTキーを押すことで、フェーダースタート機能をオン／オフすることができます。フェーダースタート機能をオンにすると、フェーダーで音量を∞ にしたときに再生待機状態にすることができます（フェーダーストップ）。
再生待機中にフェーダーをあげると再生が始まります（フェーダースタート）。

1. FADER STARTキーを押して、フェーダースタート機能をオンにします。（オンのときは、FADER STARTインジケーターが点灯します）
2. 再生待機中にフェーダーをあげる（∞から10dBの方向へ動かす）と再生を開始します。
3. 再生中に、フェーダーを∞にすると再生待機状態となります。

メモ

- フェーダースタートを使うには、HS-4000本体の **“REMOTE SETUP”** 画面の **“GENERAL”** タブ画面で **“FADER Start MODE”** 項目が **“Enable”** に設定されている必要があります。
- フェーダーストップを使うには、HS-4000本体の **“REMOTE SETUP”** 画面の **“GENERAL”** タブ画面で **“FADER Stop MODE”** 項目が **“Enable”** に設定されている必要があります。
- HS-4000本体の **“REMOTE SETUP”** 画面の **“GENERAL”** タブ画面で **“FADER Start MODE”** 項目および **“FADER Stop MODE”** 項目の両方を **“Disable”** に設定したときには、本機のフェーダースタート機能が自動でオフに設定され、FADER STARTインジケーターが消灯します。また、FADER STARTキーを押しても、カラーディスプレーに警告のポップアップウィンドウが表示され、オンにすることはできません。

オンライン再生モードの切り換え

オンライン機能を切り換え可能（**“ONLINE FUNCTION”** 項目を **“Switchable”**）にしているとき、ON LINEキーを押すことでオンライン再生モードのオン／オフの切り換えができます。
オンライン再生モードのオン／オフによって、音声出力方法が変わります。詳しくは、HS-4000の取扱説明書第12章「その他の機能」の「オンライン機能 」をご参照ください。

出力定格

アナログオーディオ出力定格

スピーカー（モノラル）

最大出力：1W

PHONES端子

コネクター：6.3mm（1/4″）ステレオ標準ジャック

最大出力：45mW+45mW 以上

（THD+N 0.1%以下、32Ω負荷）

一般

電源電圧

DC41V（本体から供給）

消費電力

8W

外形寸法

429.2 x 98.5x 231.5 mm（幅 x 高さ x 奥行き）

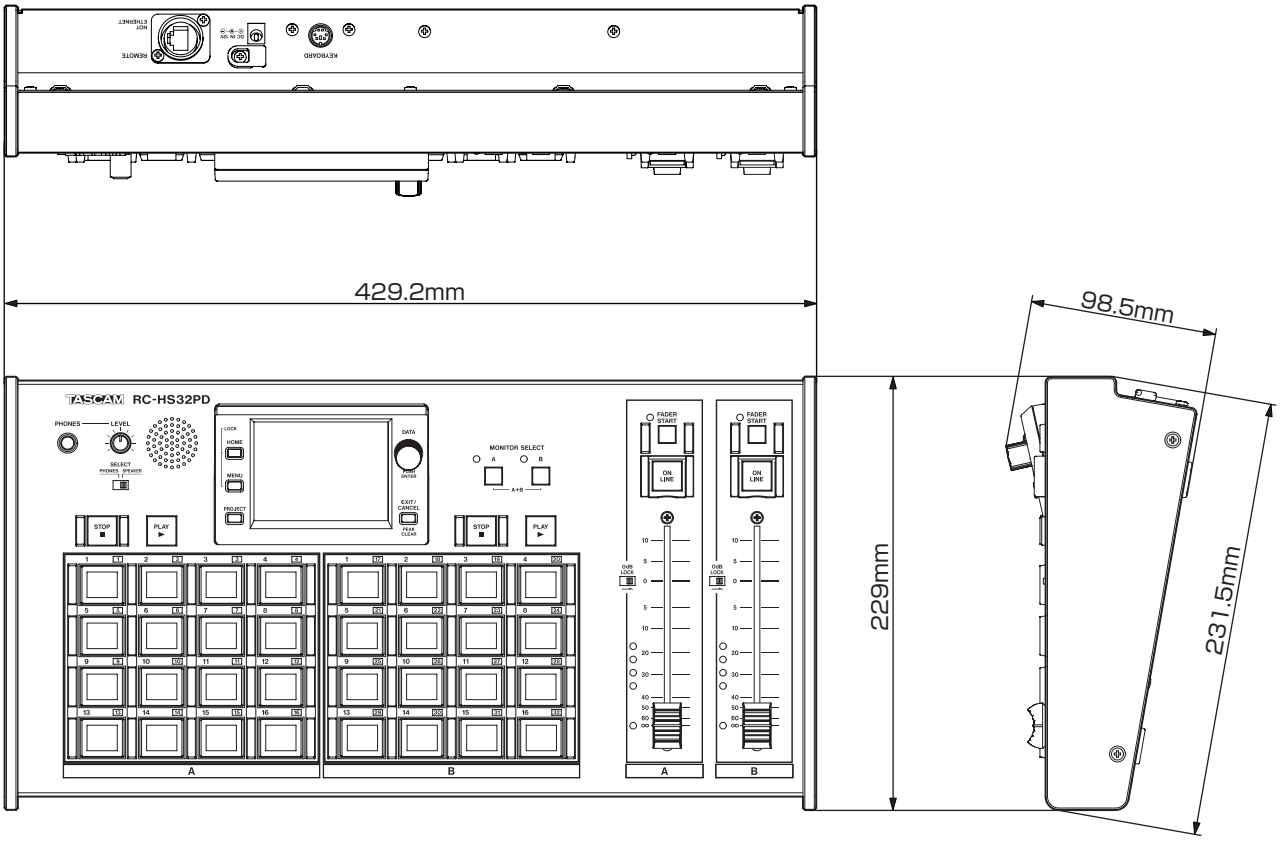
質量

4.3kg

動作温度

5 ～ 35℃

寸法図



＊ 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

＊ 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 ／ 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
http://tascam.jp/

Printed in China